

第4回やすらぎ堤デザイン検討委員会資料
平成27年10月7日(水)

区間全体の動線計画および 機能・空間配置方針

1. 信濃川やすらぎ堤の現況把握

■動線

- やすらぎ堤の主要動線は天端道路となっており、歩行者・自転車が共用している状況となっている。
- 堤内地側の車道は、自動車の交通量が多いが歩道が確保されていない区間がある。
- 堤内地側裏法や堤脚部の歩道は、整備されていない区間もあり、連続性は確保されていない。また、利用形態は、歩行者・自転車の通過利用が主となっている。



1. 信濃川やすらぎ堤の現況把握

■利用状況

- 堤防天端や高水敷は、散策やランニング、自転車等の線的な利用が主となっている。
- 部分的に配置されている四阿やベンチ等の休憩施設は、多くの利用者がみられる。
- 街側からのアクセスのための階段は、堤防につながる道路のほぼ全てに配置されており、良好なアクセス性が確保されている。



2. 信濃川やすらぎ堤の動線・機能配置の基本的考え方

■動線の基本的考え方

「堤防天端動線」、「高水敷動線」、「堤内地動線」の3動線について、それぞれの機能に配慮しながら、可能な限りそれぞれの連続性を確保する。

○堤防天端動線 ⇒ 開放感を満喫できる歩行者優先の動線

- ・川辺の景観を満喫できる散策のための動線であり、やすらぎ堤の主要動線として位置づける。
- ・歩行者と自転車それぞれが、安全・快適に利用できる整備を目指す。(*1)
- ・動線の連続性を確保するため、橋梁から堤防天端への階段・スロープを順次整備する。(*2)

○高水敷動線 ⇒ 水辺を感じる散策動線

- ・散策やランニング等の利用を主とし、自転車利用は制限を行う。
- ・やすらぎ堤の伸びやかな景観を保全するために、舗装園路等は特に設置しない。
- ・船着場やイベントの場など、主たる利用空間では、堤防天端からアクセスするスロープ等を整備する。

○堤内地側動線 ⇒ 安全で快適な通過動線

- ・主として通過利用の便宜を図る動線として位置づける。道路歩道の機能も一体的なものとして整備を行う。(*3)

(*1): 堤防天端へのスロープ入口にサインを設置するなど、通過目的の自転車を車道内の自転車レーンに誘導する工夫を行う。

: 具体の整備にあたっては「新潟市自転車走行空間整備ガイドラインH26.3」に則って通路形状を設定する。

: 放置自転車の助長や景観阻害につながりやすい駐輪場等の自転車関連施設は堤防上には設置しない方針とする。

(*2): ただし萬代橋については、文化財としての価値を尊重し、安易な動線整備は行わないものとし、当面は左岸立体歩道橋の整備により動線を確保する。

(*3): 道路幅が狭い区間では、歩道に替わる通路を堤防裏法部に配置して、車道内の自転車通行レーン幅を確保するなどの工夫を行う。

2. 信濃川やすらぎ堤の動線・機能配置の基本的考え方

■機能配置の基本的考え方

「他では得られないやすらぎ堤の最大の魅力」=「市街地の中心部に素晴らしい水辺空間があること」を基本的な考え方とし、河川ならではの魅力を重視した機能配置とする。

- 治水機能の確保を大前提とし、施設の整備にあたっては堤防の安全性や洪水の流下に支障を及ぼさないよう十分留意する。
- 高水敷は、利用者が自由に使えるようにすることを基本的な考え方とし、利用方法や機能を限定するような施設整備は行わない。
- 堤内地の既存施設の利用と連携して、河川区間内の利用促進を図れるようにする。
- 背後地との連携や街からのアクセスを踏まえて、利用方法・機能を想定する。
 - ・散策・休息・眺望
 - ・スポーツ
 - ・ピクニック
 - ・イベント
 - ・水面レクリエーション
 - ・アウトドアレクリエーション
 - ・自然観察・自然学習
 - ・飲食
- 堤防天端および高水敷の線的利用は、動線の考え方にして連続性を確保する。

2. 信濃川やすらぎ堤の動線・機能配置の基本的考え方

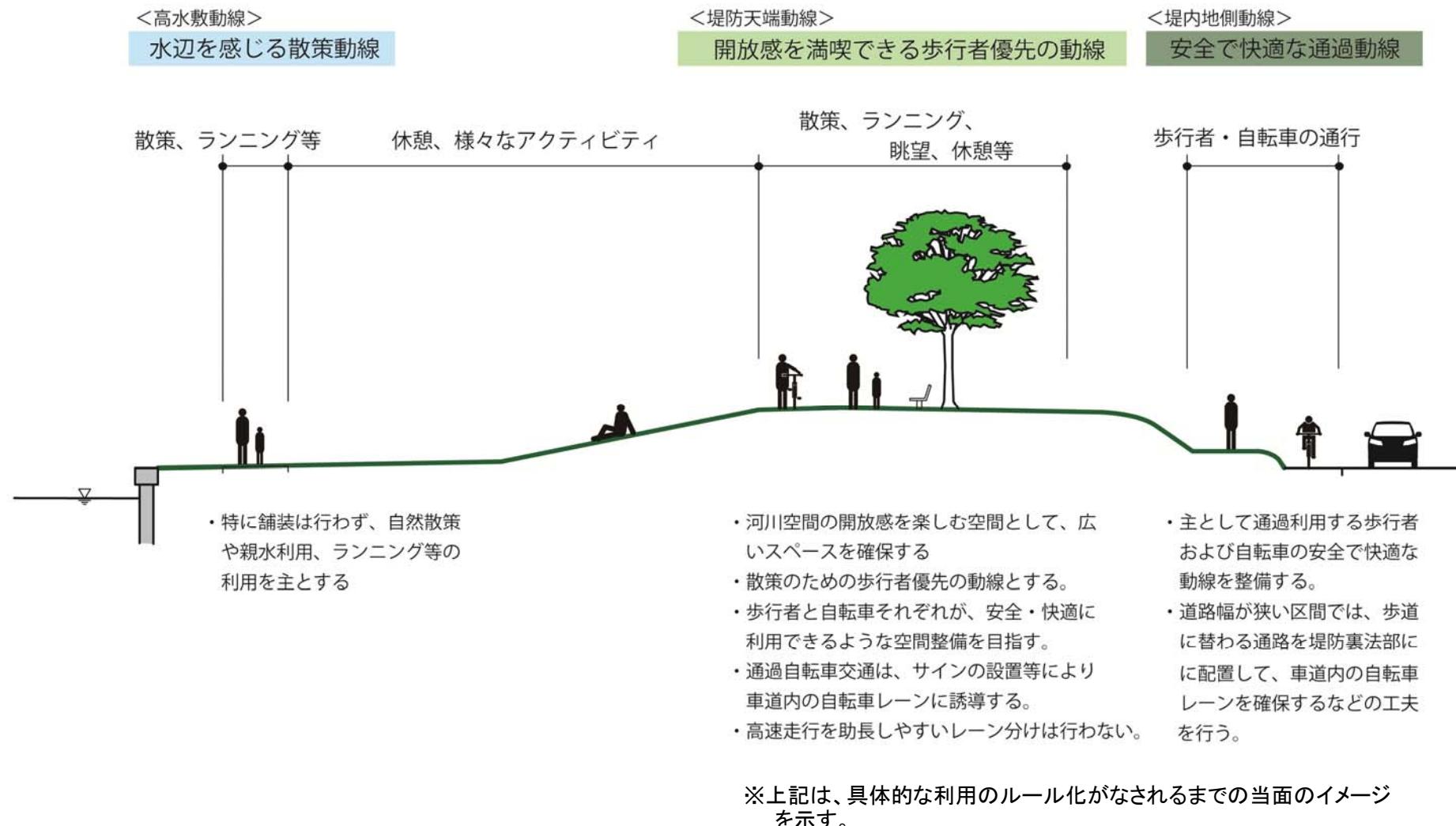
■各種施設整備の基本的考え方

現在の主な利用であるランニングや散策等が、より快適に利用出来るよう施設整備の充実を図る。またミズベリングの取組み等と連携し、賑わいの創出に資する基盤施設を整備する。

- 拠点施設 ⇒堤内地も含め、河川管理者、公園管理者、まちづくり部局が連携し、やすらぎ堤利用の拠点となるような施設の配置を目指す。特に「防災教育」の場としての利用や、休憩・案内等への多目的利用に配慮する。
- トイレ・四阿 ⇒休憩・利便施設は、アクセスポイントの位置や敷地の状況を踏まえながら、できる限り一定間隔に配置する。また災害時に応急利用ができる電源の設置や、断水時にも利用できる防災トイレなど、防災機能の付加を推進する。
- 照明施設 ⇒区間全体について、最低限の安全を確保する照明配置を基本とする。各所の利用形態を踏まえて演出照明等の設置を検討する。

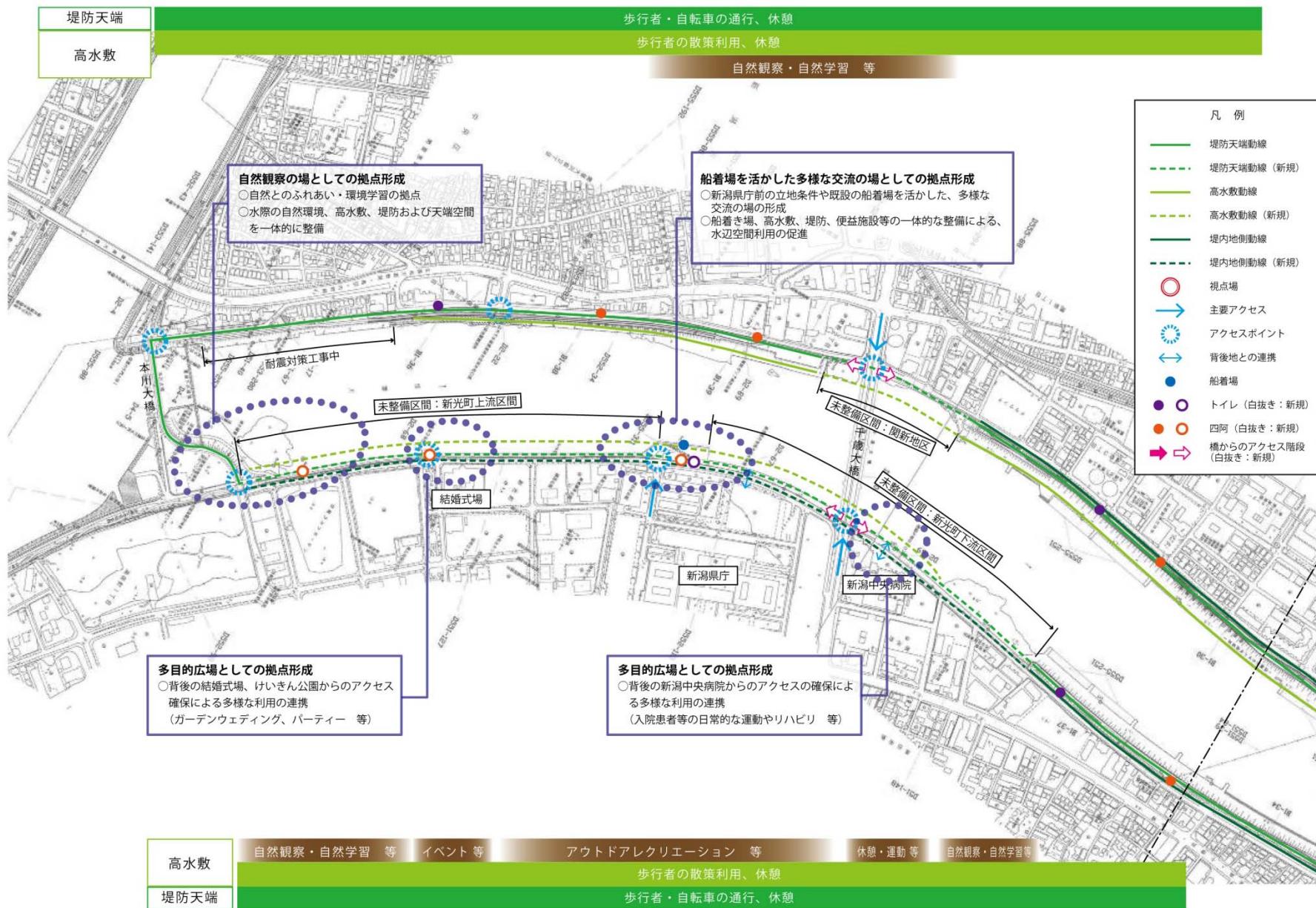
2. 信濃川やすらぎ堤の動線・機能配置の基本的考え方

■動線・機能配置のイメージ



2. 信濃川やすらぎ堤の動線・機能配置の基本的考え方

■動線・機能配置計画図(1)



2. 信濃川やすらぎ堤の動線・機能配置の基本的考え方

■ 動線・機能配置計画図(2)

